

## 裾野麗峰山の会山行報告書

文・石和 写真・村山

山行番 NO. 1557-2  
日時 2013. 07. 28 (日) 晴  
山域 奥秩父 両神山 (1723m) 日本百名山 厳しい岩稜の山  
コース 下土狩5:00発-雁坂峠-八丁峠コース 上落合橋発8:17-八丁峠  
9:08-行蔵峠10:05-西岳10:16-龍神神社奥社10:42-  
東岳11:22-両神山12:14-作業道入口12:28-上落合橋着  
14:08-こまどり荘着14:40  
標高差 上り 上落合橋 814m~両神山1723m=約583m  
参加者 村山忠彦(L)、河野光江、峰田光江、石和加代子=4名

このところ大気の不安定な天候で、あちこちで大雨による災害が発生している。前日の夜中に音をたてて雨が降りだした。幸い明け方起きた時にはやんでいた。予定通り5時に長泉を出発、車で3時間程で埼玉県の奥秩父中津川にやってきた。明日の天気予報は午前中は悪くない。今は晴れている。そこで、今日登る予定の「南天山」と明日



登る「両神山」を交換することにした。去年の秋にも両神山登山を計画し、登山口まで来て確認し「じゃあ、明日」といったのに、その後雨になり残念な思いをしている。

朝8時、上落合橋の駐車スペースには車がとまっていない。落石や地面の崩れがあつてはいけなからと、広々と真ん中に駐車した。

これから行く八丁峠コースはあまり紹介されていない。登山口に「注意 …両神山に至る八丁尾根縦走路…急峻な岩場が多く、くさり場が続く難コース…」と書かれた注意書板が立ててある。



登山口のはしごとりについて、沢岸や尾根を登り、山腹を巻き1,4km 約50分で八丁峠に着く。一段上にベンチがあり北側の展望が開けている。ガスが所々かかり、合間からによきによきと立つ山の景色は中国の山水画のようにも見える。さあ、いよいよ地



図に岩の崖マークが続く八丁尾根の縦走にとりかかる。ヘルメットをかぶり皮手袋をはめて慎重に進もう。「西岳0,8km、東岳1,6km、両神山頂2,6km」の標識あり。

わずかに進むと、いきなりクサリ場が現れる。初めの一步の右足の足場が見つからない。焦った。ここで本当に気を引き締めた。ガラガラしているので、落石にも注意が必要だ。行蔵峠(ぎょうぞうとうげ)まで約45分。そこから約10分の西岳は、細長い頂上だ。青空になり、山また山、山奥にやってきたなあと思う。約25分で小さな祠のあるピーク



クに出る、龍頭神社奥社だ。クサリを交えて下り、また登る。約40分で東岳に出る。やっと地図に岩の崖マークがなくなる。ここで一段落。もうクサリは終わったかと思いきや、やさしいものがまだ2つあった。約50分で12時14分に両神山山頂に到着。ここまで約4時間。頂上は岩のやせ尾根で祠があり二等三角点が設置されていた。展望図盤を見て「あ！富士山」と叫んだ人が。でも

富士山は見えなかった。ところが、ぽつぽつと雨粒があたる。空を見上げれば、黒雲がおおっている。記念集合写真だけとって、昼食はとらずにすぐ下ることにする。ここま



に会った登山者は十人はいなかった。ハーネスをつけロ

ープを持った3人のグループは、この夏剣岳を目指すと言っていた。この小学6年生の男の子はお父さんを頼もしく思うことだろう。

山頂から南へ少し下ると、両神神社への分岐。左方面からはにぎやかな声が聞こえた。さらに少し進むと分岐。直進すると梵天尾根コースだが、私たちは右手のロープを潜って谷へと続く道に入っていく。少し進むと右手にトラロープが張ってあり、「作業道 進入禁止」と書かれた看板がぶら下がっている。ここを無謀にも(?)進む。やぶこぎで道がわからなくなることを予想して、リーダーはGPSを手近に用意していたが、テープも貼られているし、踏み跡もしっかりしていて困らなかった。ただ、急な尾根や木の枝根がたくさん道をおおっているの



です。非常にやすいこと、沢を数か所渡るの、雨が降ると危険になるだろう。最後には道路が見えてきて、ワイヤーの張られた急な尾根を、真下に見える白い落合橋に向かって下った。無事に14時8分到着、頂上からの下りは2時間弱。ばんざーい！ やったー！ 険しく大変ではあったが、歩行距離も標高差もそれほどではないが変化に富んでいて、怖さとおもしろさが同居した山行となった。

昼食を食べそこねたから、ここでゆっくり食べようと靴をぬぎながら言っているとまたもや雨がぽつぽつ降ってきた。薄暗い、切り立った林道なので雨がひどくなったら大変だ。さっそく宿泊予定のこまどり荘へ向かう。カッパも着ることなく、無事にすんだ。

「こまどり荘」は民宿風な名前だが、とてもしゃれた感じの施設だ。彩の国・ふれあいの森の中にあり森林科学館も隣接していて、森・川・遊び・学び・体験と子どもたちにも利用されているようだ。この日はたまたま宿泊客が少



なく、静かにゆっくりすごせた。明日は4時間弱歩きの「南天山」なので、朝食を食

べてから（予定は朝食をお弁当にしてもらう）出発に変更した。険しい山をやりおえた夜は安堵と満足で酔いが早くまわってしまった。（いつもは明日の山行のためにあまり飲まないのですが）



朝起きたら雨が降っている。南天山登山は中止にした。9時にこまどり荘をあとにして、山梨ほったらかしの湯でゆっくり露天風呂につかり、3時すぎに長泉に到着した。

リーダーはじめみなさんのおかげで、楽しい両神山登山となりました。ありがとうございました。

出会えた花（ヤシオツツジの葉

っぱがいっぱいあり、春と紅葉の時期が人気となる）

ハクサンオミナエシ 白山女郎花、イワギボウシ 岩擬宝珠、ノコンギク 野紺菊、シモツケソウ 下野草、ミヤマホツツジ 深山穂躑躅、タマガワホトトギス 玉川杜鵑、

中止した「南天山」は隠れた名山で1483m、 両神山の近くに位置する

「追記村山」

八丁峠コースは事前の調査でこのメンバーでは慎重に登れば大丈夫だろうと考えていた。

装備は安全を考えてヘルメット着用としました。岩尾根の登攀は基本を守れば問題ありませんでした。

下りのダイレクトルートはトレースは想像してたよりもしっかりとありました。しかし尾根上の細いトラバース道は片側は深い崖になっており転ぶと大変なことになります。また途中3ヶ所の急な沢のスラブのトラバースがありここも降雨の後には水が流れており滑落の危険があります。したがって悪天候時の下山コースとしては進められないと感じました。